

教師用指導案「聖火と聖火リレー」

- 対象： 高校生
- 本時のねらい： 聖火の歴史と東京 2020 聖火リレーの意味を理解する
- 準備物： インターネットに接続できるタブレット又は PC
- 適用可能な学習時間： 総合的な学習の時間、現代社会、保健体育 等

時間	学習活動	指導上の留意点	参照資料等
導入 (5分)	1) 本時の見通しを持つ 【発問】オリンピック聖火の採火式はギリシャで行われます。なぜギリシャで行われるのでしょうか。	本時は聖火と聖火リレーの歴史と意味について学ぶことを理解させる。 聖火について知っていることを発表させる。	「 オリンピック価値教育の基礎 」p.40-41 「 東京 2020 聖火リレー授業用参考資料 」
展開 (10分)	2) オリンピック聖火の歴史と採火式について知る。 (古代における聖火の意味とオリンピアで行われる採火式を通して聖火の意味を知る)	資料を用いてオリンピック聖火の歴史とオリンピアでの採火式について調べる。	「 オリンピック・パラリンピック学習読本高等学校編 」p.44-45
(15分)	3) 東京 2020 聖火リレー(オリンピックとパラリンピック)の意味について調べる。	オリンピックとパラリンピックそれぞれで聖火リレーが行われ、それぞれにコンセプトがあることを学ばせる。	東京 2020 ウェブサイト「 東京 2020 オリンピック聖火リレー 」、「 東京 2020 パラリンピック聖火リレー 」
(15分)	4) 東京 1964 大会の聖火リレーでは、いくつかの国や地域を結び、何人のランナーが聖火をつないだのか調べる。また、聖火リレーのコースにはどのような意味が込められていたのか考えさせる。	東京 1964 大会ではギリシャで採火された聖火が、アジアの国々を経由して、当時アメリカの占領下にあった沖縄に到着したこと、全国で約 10 万人もの走者が参加したことなどを学ばせる。 人々がどのような思いで聖火を迎えたのか、考えさせる (又は、当時を知る地域の人のお話を聞く機会を設ける)。	「 オリンピック・パラリンピック学習読本高等学校編 」P44-45、P64、P73

時間	学習活動	指導上の留意点	参照資料等
	<p>又は</p> <p>4)東京 2020 オリンピック聖火リレーのルートを考えよう。自分の地域(都道府県または市町村)をリレーするとしたらどのコースが良いだろう？またランナーはどのような人が良いか話し合おう。</p> <p>グループの考えを全体で共有しよう。</p>	<p>東京 2020 オリンピック聖火リレーのコンセプトに基づき、また地域の良さを発信するために、どのようなコースを選んだら良いか考えさせる。また、聖火ランナーについても考えさせる。</p> <p>2人組またはグループで話し合い、発表させる。</p> <p>(又は、各自でランナーへの推薦文を書かせ、発表させる。)</p>	<p>東京 2020 ウェブサイト「東京 2020 オリンピック聖火リレー」、「東京 2020 パラリンピック聖火リレー」</p>
まとめ (5分)	オリンピック聖火の歴史と意味、東京 2020 聖火リレーの意味について振り返る。	聖火について振り返らせ、今後も継続して関心を持つようよう方向づける。	